

【論 文】

いわゆる「生活の手引き」の 語彙についての覚え書き

ーフォリナー・ライティング研究の視点からー

今 西 利 之

要 旨

フォリナー・ライティング研究への取り組みの一つとして、留学生(日本語非母語話者)に配布される生活に関する情報冊子を資料とし、そこで使われている語彙を把握するとともに、『日本語能力試験出題基準』との比較を行い、いくつかの語について、フォリナー・ライティングの必要性や可否について論じた。調査資料内で用いられている語彙の75%以上は級外、1級及び2級語彙であり、それらの語彙の中には、情報としての必要性が低い語彙が含まれているほか、FWの必要性が低いと考えられるもの、逆に指示対象の具体性が非常に高いため語彙のレベルでのFWは非常に難しいものなど、さまざまな語彙が含まれていた。しかしながら、残りの語彙はFWの必要性が高く、またFWが可能な語彙であると考えられる。

1. はじめに

渡日直後の留学生(日本語非母語話者)には、日本及び自身が滞在する地域で生活を始めにあたって必要となる、更に、今後生活を行っていく上で役立つと考えられるさまざまな情報(各種制度や手続き、規則や習慣・風習、行事予定、緊急時の対応方法に関する情報など)が主に紙媒体を用いて与えられる。いわゆる「生活の手引き」と言われる冊子である。この種の冊子は、多くの場合、母語話者に対して使用されるのと同レベルの日本語で書かれた日本語版と世界の共通語であるとの認識にたった英語版が用意されている。また、両者に加えて中国語版、韓国語版をはじめとする外国語版が用意されている地域もある。しかしながら、母語話者に対して使用されるのと同レベルの日本語で書かれた日本語版を読み、その内容を理解するためには、相当高い日本語能力が必要であり、また、河原(2005)が指摘しているように、すべての留学生(日本語非母語話者)の母語で「生活の手引き」を作成

することは予算や翻訳者の問題などのため現実には不可能である。このような認識のもと、近年は「やさしい日本語」版を作成している地域も出てきた。

この問題に対して今西（2006）及び今西（2007）では、「ある言語を母語とする者が、その言語を母語としない者へ文書で情報伝達を行う際に、相手の言語能力が十分ではないことを意識して自らの母語の運用に変更を加え、相手への円滑な情報伝達を図ろうとすること」をフォリナー・ライティング（以下FW）と名付け、その必要性を述べるとともに、いくつかの例についてその分析を行った。

筆者が行おうとしているFWに関する研究の目的は、日本語教育に従事している者が持っている、日本語能力が初級後半から中級レベルの留学生（日本語非母語話者）に対する文書による情報伝達の方法を、日本語教育に従事していない者に具体的に提示することによって、日本語能力が初級後半から中級レベルの者を対象とした文書を作成する際の指針を与えることにある。そのためには、(1) 留学生（日本語非母語話者）に配布されている文書に用いられている語彙を検討・把握し、(2) それらの語彙と、『日本語能力試験出題基準』をはじめとするいわゆる日本語教育基本語彙や初級教科書に提示されている語彙との比較を行い、(3) 中級レベル以上であると判断される語彙を選び出し、(4) それらの語彙を「FWが不必要なもの」「FWが可能なもの」「FWが不可能なもの」に分類し、(5) 「FWが可能なもの」についてはFWを行った上で具体的な形で提示し、(6) 「FWが不可能なもの」については、初級レベルでの日本語教育の教育内容に可能な限り反映させる、という作業が必要になる。そこで本稿では、この一連の作業の第一歩として、熊本大学に入学した留学生に配布される熊本での生活に関する情報冊子^①を資料とし、そこで使われている語彙を把握するとともに、『日本語能力試験出題基準』との比較を行う。また、いくつかの語について、FWの必要性や可否について論じる。なお、この冊子を資料として選んだのは、大学生活に特化されていない日常生活に関する一般的な情報が載っていると、今後予定している他地域のいわゆる「生活の手引き」との比較・対照のための基礎資料を得ることができると考えたからである。ちなみに、この冊子の目次は以下の通りである。

いわゆる「生活の手引き」の語彙についての覚え書き

はじめに	公共サービス（電気・ガス・水道・ゴミなど）
非常電話のかけ方（事故・火災・救急）	銀行
熊本市の概要	郵便局
熊本市国際交流会館	電話
熊本市役所	税金
在留手続	年金
補足：印鑑、保証人について	のりもの
部屋を借りる	教育
補足：地域でのくらし	医療
マスメディア	レクリエーション情報
警察と交番	熊本の歳時記
災害に備えて	補足資料

2. 使用語彙の数量的分析と『日本語能力試験出題基準』との比較

この節では、調査資料における使用語彙の数量的分析と『日本語能力試験出題基準』との比較を行う。語彙選定は、『日本語能力試験出題基準』に準じて行った。ただし、『日本語能力試験出題基準』では原則として採用されていない「飲食品名、動植物名（野菜・果物名を含む）、スポーツ名、楽器名」「特殊な専門用語」「趣味・娯楽に関する特殊な語」「ローマ字表記による略語等」「年中行事に関する特殊な語」については、その出現頻度やそれに基づく教育語彙としての必要性を他地域の資料との考察を通じて今後検討する必要があるため排除しなかった。なお、どのような単位を語として認定するかについては、言語学及び日本語学における特定の学説に基づくものではなく、『日本語能力試験出題基準』での取り扱いに準じつつも、筆者独自の判断で語として取り扱ったものもある。

調査資料中に用いられている語彙は、延べ語数で約12,000語、異なり語数で2,337語であった。この2,337語について、それぞれが『日本語能力試験出題基準』に掲載されているかどうか（級外語彙かどうか）、掲載されている場合は何級の語彙として掲載されているかを調べた結果、次の表1の結果が得られた。

【表1】『日本語能力試験出題基準』との関係

級	語数		%	
		累積		累積
4級	317	317	13.6	13.6
3級	238	555	10.2	23.8
2級	815	1,370	34.9	58.6
1級	311	1,681	13.3	71.9
級外	656	2,337	28.1	100.0

調査資料中の語彙に占める日本語能力試験4級及び3級語彙は25%に満たず、50%近くが2級及び1級語彙である。更に級外語彙が25%以上を占めている。従って、この冊子を読み、そこに書かれている内容をある程度理解するためには、少なくとも日本語能力試験2級合格程度以上の日本語能力（語彙力）が必要であると考えられる。

『日本語能力試験出題基準』では、4級語彙として728語、3級語彙として4級語彙を含む1409語が選定されているが、そのうち、それぞれ約43.5%、約39.4%が調査資料内で使用されていることになる。調査資料内で使用されている4級語彙及び3級語彙は次の表2の通りである。⁽²⁾

【表2】調査資料中の4級及び3級語彙

【あ】挨拶、間、青、青い、赤、赤ちゃん、開く、開ける、あげる、上げる、朝、アジア、暖かい、頭、新しい、厚い、暑い、集める、後、あなた、アパート、アフリカ、あまり、雨、アメリカ、洗う、ある、歩く、安全、案内
【い】言う、家、以下、以外、行く、意見、以上、椅子、急ぐ、いたす、頂く、一日、いつ、いつか(5日)、一緒、いつも、以内、祈る、今、意味、嫌、いる、入れる、色、色々、祝う
【う】上、何う、受け付け/受付、受ける、後ろ、内、打つ、美しい、写す、うまい、生まれる、海、売り場、売る、運転、運転手、運動
【え】映画、英語、駅、選ぶ、エレベーター、～円、鉛筆
【お】多い、大きい、大きな、オートバイ、お菓子、お金、置く、送る、遅れる、行う/行なう、教える、押す、お釣り、音、男の子、大人、踊り、踊る、驚く、同じ、重い、思う、降りる、お礼、終わる、音楽、女の子
【か】回、階、会議室、外国、外国人、会社、会場、買う、帰る、科学、かかる、鍵、書く、学生、～ヵ月/ヶ月、かける、飾る、火事、ガス、風、家族、方、カタカナ、～月、学校、家庭、必ず、壁、紙、通う、火曜日/火、ガラス、借りる、軽い、カレンダー、代わり、変わる、関係、漢字、簡単
【き】木、気、聞く、危険、聞こえる、季節、規則、北、切手、切符、厳しい、決まる、決める、客、急、急行、教育、教室、切る、きれい、キロメートル/キロ、キログラム(kg)、銀行、近所、金曜日/金曜
【く】空気、空港、薬、下さる、国、比べる、グラム(g)、来る、車、くれる

いわゆる「生活の手引き」の語彙についての覚え書き

【け】計画、経済、警察、ケガ/けが怪我、消しゴム、消す、結婚、月曜日/月曜、県、けんか、元気
【こ】子、～個、～語、公園、郊外、工業、高校生、工場、交通、高等学校、交番、声、国際、ここ、午後、心、ございます、故障、午前、答える、こと、言葉、子供、この、コピー、困る、ごみ/ゴミ、ご覧になる、これ、～頃、コンサート、コンピューター
【さ】～歳、最後、最初、探す、咲く、差し上げる、雑誌、産業
【し】～時、字、しかし、時間、～式、試験、事故、仕事、辞書、地震、静か、下、時代、質問、自転車、自動車、しばらく、自分、市民、事務所、閉める、社会、写真、自由、～週間、住所、十分、授業、準備、紹介、正月、小学校、上手、食事、女性、知らせる、調べる、知る、白、人口、神社、親切、新聞
【す】水道、水曜日、吸う、すぐ、少ない、進む、スポーツ、住む、済む、相撲、する
【せ】～製、生活、政治、世界、席、説明、是非、千、線、全部、専門
【そ】そう、掃除、相談、そして、卒業、外、その、それ、それから
【た】～代、退院、大学、大学生、大使館、大切、大体、台所、タイプ、台風、倒れる、高い、たくさん、タクシー、出す、尋ねる、訪ねる、正しい、縦、建物、例えば、楽しむ、頼む、たばこ、多分、食べ物、食べる、誰か、誕生日
【ち】チェック、違う、近く、力、注意、中学校、駐車場、地理
【つ】使う、疲れる、次、着く、机、作る、つける、伝える、続く、続ける、包む、妻、強い
【て】手、テーブル、出かける、できる、デパート、寺、出る、テレビ、点、電気、電車、電灯、電報、電話
【と】戸、～度、ドア、どう、とおか(10日)、通る、特に、特別、どこ、図書館、途中、特急、届ける、どの、止まる、止める、土曜日/土曜/土、鳥、取る、どんどん、どんな
【な】無い、長い、無くなる、亡くなる、夏、夏休み、～等/～など、何、なのか(7日)、名前、なる
【に】臭い、西、～日、日曜日/日曜/日、入院、入学、ニュース、似る、庭、人形
【ね】熱、年
【の】飲む、乗り物、乗る
【は】場合、入る、はがき/ハガキ、箱、始まる、初めて、始める、場所、走る、バス、パソコン、はつか(20日)、花、話す、花見、早い、速い、払う、春、～半、～番、番組、番号
【ひ】火、引く、美術館、非常に、左、必要、人、ひとつ(1つ)、ひとり(1人)、病院、病気、ひらがな、昼、ビル、昼間、広い、拾う
【ふ】封筒、プール、増える、深い、服、ふたつ、二人、普通、布団、降る、～分、文化、文学
【へ】ページ、部屋、[お]弁当、便利
【ほ】放送、ボールペン、ポスト、ボタン、程、ほとんど/殆ど、本、翻訳
【ま】～枚、毎週、毎月、毎年、毎日、参る、前、まず、また、または/又は、待つ、マッチ、窓、周り、まわる、万
【み】短い、店、見せる、道、みっか(3日)、みつつ(3つ)、緑、皆さん、南、見る
【む】迎える、昔
【め】～目、メートル(m)
【も】木曜日/木、もし、もちろん、持つ、最も、戻る、物/もの、桃、もらう、問題
【や】野球、役に立つ、安い、やむ

【ゆ】湯、郵便局、有名、雪、輸入
【よ】良い、用意、よく、横、よっか(4日)、予定、呼ぶ、予約
【ら】ラジオ
【り】理由、利用、旅行
【る】留守
【れ】冷蔵庫、歴史、連絡
【わ】分かる

表2に挙げた語彙の必要性についての最終判断は、他地域の資料との比較の結果を待たなければならないが、日本語能力試験4級及び3級語彙として採用されているものであることを考えると、留学生（日本語非母語話者）が文書で情報を得る際に必要不可欠な語である可能性が極めて高い。また、FWを行う必要のない語彙であるとともに、FWを行う際に使用可能な語彙でもある。更に、日本語教育の現場で、特に日常生活での日本語使用及び理解を目標とする学習者に対しては、4級語彙であるか3級語彙であるかの違いにとらわれることなく、学習の早い段階で習得させるべき語彙であると考えられる。

続いて、級外、1級及び2級語彙についてである。調査資料内で使用されている級外、1級及び2級語彙は次の【表3】の通りである。

【表3】調査資料中の級外、1級及び2級語彙

【あ】ISDN、愛す、合図、愛する、相手、アイディア、IP、アイロン、空き、悪質、アクセス、挙げる、預け入れ預ける、与える、辺り、当たり、扱/扱い、扱う、厚紙、圧巻、預払機、宛、当てる、アドバイス、後戻り、アナウンス、アナログ、アプローチ、雨戸、あらかじめ、現れる/現われる、アルファベット、合わせる、慌てる、安価、暗証番号、アンテナ、アンペア(A)、あんま
【い】～位、胃、EMS、委員、活かす、いくつか、以降、いざ、医師、維持、遺失、異常、いずれか、以前、遺族、委託、位置、市、一時、一度、一部、いちょう、一覧、一律、一括、慈しむ、一種、一層、一定、いつでも、一般、一方、移転、移動、営む、否、違反、今や、依頼、医療、衣類、祝う、～員、印鑑(印)、印刷、インターネット、インフォメーション
【う】～上、植木、web、雨期、受け付ける、受取、受け取る、映る、有無、埋め立て/埋立て、敬う、運営、運行、運賃
【え】エアコン、AM[ラジオ]、営業、永住、エイズ、衛生、衛星、映像、ATM、栄養、SOS、枝葉、FM[ラジオ]、エリア、得る、LDK、LPガス、園、宴、遠隔地、縁起、円形、延長
【お】追い払う、負う、追う、押印、応じる、往復、大～、大型、大手、大晦日、おかゆ、置場、起きる、屋外、屋内、送り返す、起こる、おさまる、納める、おしるこ、オセアニア、恐れ、落し物、落とす、鬼、各々、オペレーター、お盆、主、親、およそ、及び、およぶ、オリジナル、オリンピック、終わり、恩恵、音声、温帯、温暖

いわゆる「生活の手引き」の語彙についての覚え書き

<p>【か】日、課、科、～化、カード、会、～外、～街、会員、外貨、海外、開館、会館、概観、開業医、解決、外交、外国籍、開催、改札、開始、外資、回収、外出、回数券、開説、回線、改善、開庁、快適、該当、開封、海洋、概要、外来、回覧、外輪山、カウンター、価格、鏡開き、鏡もち、係、かわる、火気、書留、限り、限る、各、家具、額、各自、各種、覚醒剤、拡大、確定、確認、学年、確保、学務、学齡、学割、ガケ崩れ、過去、～カ国、火災、加算、火山、貸出し、～カ所/箇所/ヶ所/、個所、課す、数、カスタマー、課税、河川、河川敷、火葬、型、課題、片道、カタログ、かつ、学科、活性、活動、課程、家電、かなう、加入、鉦、可能、カビ、過不足、かぼちゃ、かまう、神、紙屑、神様、画面、科目、貨物、仮、カルデラ、革、～側、為替、代わる、缶、～館、～間、～官、ガン、簡易、考え、間隔、管轄、換気、換気扇、肝機能、換算、元日、感謝、患者、感じる、完成、寒暖、眼底、乾電池、館内、看板、還付、勧誘、管理</p>
<p>【き】黄、期、～機、器、気温、規格、気軽、期間、機関、希求、企業、器具、期限、氣候、帰国、記載、刻む、義肢、期日、基準、気象、奇数、築く、基礎、期待、記帳、木づち、規定、記入、記念、機能、技能、基盤、規模、希望、基本、義務、義務づける、キャッシュカード、キャッシュディスペンサー(CD)、キャッシング、旧、きゅう(灸)、級、急患、救急、救急車、旧居、給食、給付、給与、教科、協会、教科書、協議、競技、供給、共済、教材、行事、業者、教習、強制、行政、共通、教本、興味、業務、許可、漁業、局、局番、居住、拠点、距離、切りす、切、切り上げ、切替、切り替える、切り替わる、切り捨て、切り取る、切れ、切れる、記録、キロヘルツ(KHz)、キロワット、金、銀、均一、金額、緊急、近距離、近郊、禁止、金属、近代、勤務、金融、勤労</p>
<p>【く】区域、空車、空想、区間、腐る、屑、～口、クッション、具備、くまなく、組合、くみ取り、供養、暮らす、クリスマスカード、繰り広げる、クレジット、クレジットカード、加える、詳しい、訓練</p>
<p>【け】～系、K、経過、警戒、掲載、警察署、計算、軽自動車、形成、継続、携帯、慶弔、経費、警備、軽微、契約、経由、経歴、敬老、ケーブル、ケーブルテレビ、劇場、下車、下旬、下水道、桁、血液、結核、月額、決定、券、件、減額、現金、言語、健康、建国、検査、現在、研修、拳銃、検診、検針、源泉徴収、現像、原則、原付、限定、限度検討、現場、原票、憲法、懸念、減量</p>
<p>【こ】このぼり、校、号、広域、幸運、効果、硬貨、高額、合格、交換、公共、興行、校区、航空、工芸、合計、口座、講座、降車、講習、公衆、交渉、控除、更新、降水、構成、厚生、構造、交代、公的、行動、購読、購入、光熱、後半、広範、交付、後部、広報、後方、項目、公用、行楽地、公立、交流、考慮、高齢、越える、超える、コーナー、ゴールデンウィーク、小型、小切手、呼吸、ごぎょう、国外、国籍、国税、国内、国内外、国府、国民、国立、後日、50音順、個人、故人、小銭、国家、小包/小包み、固定、～毎、事柄、異なる、コモーション、コミュニケーション、ゴム、込める、小屋、雇用、コルセット、コレクトコール、これら、婚姻、混合、混雑、コンセント、困難、今年度、コンバータ、コンビニエンスストア、梱包</p>
<p>【さ】差、サービス、サービスマン、再～、～際、最悪、災害、在学、最高、歳時記、サイズ、最大、最長、最低、最適、再度、在留、サイン、差額、～先、作成、桜、叫ぶ、支える、差し込み、差し引く、座席、誘う、定まる、定める、札、撮影、冊子、サポート、様々、さらなる、更に、SAL、参加、残金、参考、参考書、算出、参照、残高、参拝</p>
<p>【し】～誌、～児、～次、幸せ、cc、寺院、市営、自営業、市花、歯科、次回、資格、自家用、時期、磁気、私企業、敷金、識別、支給、子宮、支局、資金、事件、資源、自己、事項、自国、資産、死産、持参、指示、自主、シジュウカラ、支出、支所、事情、市町村、自信、システム、市政、施設、自然、事前、時速、死体、事態、従う、従って、自宅、親しむ、自治、市鳥、視聴、～室、実印、執行、実施、湿度、指定、支店、市電、時点、指導、自動、自動二輪/自動二輪車、自動券売機、し尿、忍ぶ、自賠責保険、しばしば、芝生、支払い/支払、支払う、縛る、支部、私服、ジフテリア、死亡、時報、市木、姉妹、事務、氏名、示す、地元、～社、～者、車検、車庫、車内、車両、種、週、～集、就学、集荷、住居、従業員、集金、秋季、十五夜、駐在、収集、就職、修繕、渋滞、住宅、重度、拾得、収入、収入印紙、周波数、重病、重複、秋分、周辺、住民、周遊、重要、集落、修理、終了、修了、従量、重量、就労、受給、祝日/祝、受験、主食、</p>

<p>受信、受診、手段、出張、術、出願、出港、出国、出産、出生、取得、主婦、種別、種目、樹木、主要、受理、受領、種類、受話器、巡回、循環、準ずる、順番、春分、～書、諸～、～所、小、～証、～省、使用、～城、～畳、～場、上位、消火、浄化、照会、傷害、障害、消化、消火、小学生、浄化槽、上記、商業、条件、詳細、乗車、上旬、証書、症状、生じる、状態、商店街、小児、証人、少年、商売、消費税、商品、上辺、商法、使用法、情報、消防署、証明、消耗、乗用車、上陸、奨励、精霊流し、昭和、初回、除外、所管、書簡、職員、職業、食生活、食卓、食中毒、職場、食品、食料、諸国、所持、書状、初診、助成、書籍、ショッピングセンター、所定、所得、署名、除夜の鐘、所有、所要、処理、書類、知らせ、市立、私立、資料、印、記す、新～、人員、新規、腎機能、新旧、新居、申告、審査、診査、診察、神事、新車、心身、申請、新生児、親族、寝台、診断、新年、進歩、親睦、シンボルマーク、深夜、信用金庫、診療</p>
<p>【す】随時、水晶、推進、水栓、水洗、スイッチ、水量、数次、少なくとも、優れる、健やか、すずしろ、すずな、スター、スタッフ、スタンプ、既に、スナック、スペース、全て、住まい、済ます、済ませる、～済み、速やか、擦る</p>
<p>【せ】～性、～制、姓、税、税関、正規、請求、税金、制限、生後、税込み、清算、生産、精算、成人、清掃、成長、制定、青年、製品、政府、制服、生物、税務署、整理、税理士、世界一、責任、セクション、勢子、施行、施術、世帯、接近、節句、接種、接続、絶対、設置、設定、セット、設備、節分、せり、全～、前後、選考、全国、前々月、先祖、センター、選択、センチメートル(cm)、剪定、前提、全日、前年、前年度、前納、前方、鮮明、専門学校、専門店、専用</p>
<p>【そ】総～、総意、増額、送金、装具、総合、操作、葬祭、葬式、喪失、送信、増水、送達、早朝、雑煮、挿入、送付、ゾーン、属する、速達、素材、組織、祖先、育つ、措置、続行、供える、備える、そのまま、そば、ソファ、祖霊、それぞれ、そろろ、損害</p>
<p>【た】第～、大、体育、体育館、対応、退学、退去、代金、体験、太鼓、代行、滞在、対策、第三者、代謝、対象、退職、大臣、耐水層、大腸、滞納、代表、タイヤ、ダイヤル、代理、多額、高める、新能、焚く、蓄える、竹、他県、多彩、確かめる、多湿、助け、多数、助ける、讃える、ただし、～達、立ち会い、宅急便、達する、脱退、たとえ、七夕、他人、他方、～玉、保つ、たより、多量、短期、端午、短冊、誕生、タンス、断水、短大、団体、担当、担保、暖房、段ボール</p>
<p>【ち】～地、地域、知恵、地下水、地下水盆、近づく、地区、知識、地質、地上、知人、地方、茶、茶色、着用、チャンネル、～中、中央、仲介、中核、中学、中学生、中型、中近東、中古車、中旬、昼食、中心、中樞、抽選、チューナー、注目、～長、～斤、町、超、長～、～帳、超過、長寿、徴収、聴取、調整、重宝、～丁目、直接、貯蓄、治療、賃貸</p>
<p>【つ】追加、追放、～通、通学、通勤、通算、通称、通常、通じる、通信、通知、通帳、通年、通販、通報、通訳、通話、付き、付き添う、月見だんご、付く、綴り、勤め、つながる、常に、つぶす、ツベルクリン反応、つまり、梅雨、つるす</p>
<p>【て】出、～邸、低～、DK、定員、定額、定期、定期券、提供、定型、提携、停止、定時、提示、定収入、提出、定職、停電、程度、定率、停留所、手形、手帳、～的、適合、適する、適性、適用、できるだけ、デコーダ/デコーダー、手頃、出先、デジタル、手数料、手助け、手帳、手続き/手続、鉄道、手引き、手持ち、照らす、テレックス、テレホンカード、手渡す、～店、電圧、転学、電器、電球、転居、天気予報、点検、転校、展示、転出、電信、電池、伝統、転入、天皇、店舗、顔末、電力</p>
<p>【と】問い合わせ/問合せ、問い合わせる/問合せる、同～、同一、当該、投函、等級、同居、東経、登校、同行、当座、冬至、同士、陶磁器、当日、動植物園、到着、盗難、同伴、動物、～等分、透明、同様、到来、道路、灯籠、登録、通す、通り、独自、特殊、独特、特例、どこか、ところ、都市、年越し、図書、年寄り、閉じる、土地、どちらか、読経、都道府県、届く、届け/届、届け出/届出、整う、飛ばす、溜まる、富む、伴う、ともに、ドライヤー、トラベラーズチェック、取り扱い/取扱、取り扱う/取扱う、取り付ける、取り除く、取引</p>
<p>【な】～内、ないし、内臓、内容、内陸、なお/尚、半ば、仲間入り、中身、仲良く、流れる、なし、なずな、七草、何か、鍋、生、鳴らす、成り立つ、なるべく</p>

いわゆる「生活の手引き」の語彙についての覚え書き

【に】賑う、日時、日常、日本、日本語、日本国、日本人、日本脳炎、入園、入会、乳ガン、入居、入金、入国、乳児、入手、入所、入力、ニュースレター、乳幼児、二輪車、～人、任意、認可、人間ドック、妊娠、認定、妊婦
【ぬ】～主、布、漏れる
【ね】願い、願う、ネットワーク、狙い撃ち、年間、年金、年始、～年生、年度、年末
【の】能、農協(JA)、農業、納入、納付、農林、残す、載せる、乗せる、除く、望む、伸びる、～乗り、のりきる、乗り継ぎ/乗継、乗り場、載る
【は】場、パーク、パーセント(%）、肺、灰色、排気、バイク、配偶者、廃止、廃車、賠償、配達、売店、売買、廃品、配布、生える、墓、図る、パカロレア、掃く、～泊、はぐくむ、爆発、博物館、はこべら、バザー、派出所、破傷風、端数、外す、パスポート、パスワード、破損、鉢、初午、発音、発給、バッグ、発見、発行、罰する、発生、発送、バッテリー、発展、初乗、初詣、幅、母親、破片、早め、払い込む/払込む、払い戻し、祓う、パラボラアンテナ、はり、パレード、～版、範囲、繁栄、ハンガー、半額、犯罪、繁盛、番地、犯人、販売
【ひ】～費、非～、被～、BS、BCG、美化、被害、日帰り、控える、比較、引き落とし/引落し、引き落とす、引き換え/引替、引き込む、引き出し、引き出す、引き取る、日頃、ビザ、ビジネス、非常、引越し、必需、人々、一人ひとり、離、避難、備品、紐、百日咳、費用、票、表、秒、表記、表現、表示、病室、標準、病人、拾いもの、広がる、広場、日割り、～品、便、びん、ピン、ピンク、頻繁、品目、
【ふ】不～、～部、ファイバー、ファックス、封書、風しん、風物詩、不可、普及、福、福祉、複数、服装、含む、含める、福利、袋、不在、ふさわしい、不足、ふた、舞台、負担、普段、～物、ブッシュ、不動産、船便、部品、部分、不用、不要、扶養、プラザ、プラスチック/プラスティック、プラットホーム、プラン、フリーダイヤル、振り替え/振替、振り込み/振込、プリペイドカード、ブレーカー、フレーム、触れる、ブロック塀、プロバイダー、プロパンガス、フロントガラス、文、分割、分館、文具、紛失、文書、分野、
【へ】平均、平日、平成、平方、平野、併用、平和、別、ペットボトル、別々、ベランダ、ヘルツ、辺、便、返還、変更、返信、便槽、返納
【ほ】保育、保育園、法、放映、防火、簾、方向、防災、奉仕、防止、包装、放題、奉納、防犯、豊富、方法、訪問、暴力、ボーナス、ホームページ、ホール、他、保管、募金、北緯、北西、保険、保健、保護、誇る、母子、保守、募集、補助、保証、補償、補足、ホットライン、ほとけのぞ、炎、ほぼ、ポリオ、ボルト、本～、本格、本社、本籍、本線、盆地、本人、煩惱、本部
【ま】マーク、舞、前もって、まく、真心、～増、麻しん、マスメディア、混ぜる、間違う、末日、全く、末尾、祭/祭り/まつり、祭る、まつわる、窓口、学ぶ、豆、まれ、回す、満～、万一、満月、満載、満了
【み】未～、見当たる、水、自ら、満たす、見立てる、満たない、身近、見横り、認める、未納、身分、未満、身元、ミリメートル(mm)、民営、民間、民放
【む】無、無休、向ける、武者、結ぶ、無料
【め】～名、明確、名義、明細、メーター、メーターコック、メガヘルツ(MHz)、恵まれる、メッセージ、メディア、メモ、免許、免除、面積
【も】設ける、申し込み/申込/申込み、申し込む、申し出る、毛布、燃える、目的、目標、文字、もしくは、もしも、持ち出し/持出、持ち出す、モデム、元、基、元栓、基づく、求める、もともと、者、物干し、燃やす、最寄り、盛り上げる、文部
【や】～屋、夜間、約、訳、役所、役立つ、役場、養う、家賃、家主、屋根、夜半、破る、やむを得ない
【ゆ】唯一、有意義、有価証券、幽玄、友好、有効、友人、有する、勇壮、郵送、郵便、猶予、有料、ゆず、豊か、ゆれ

【よ】～用、要、用具、要件、用語、用紙、幼児、要する、幼稚園、用途、要望、ヨーロッパ、預金、翌年、余震、寄せる、預託、余分、予防
【ら】～ら、ライター、ラウンジ、楽、落下、ラッシュ、ラップ、ラベル、ランプ
【り】リーダー、理解、陸運、リサイクル、利子、リズム、リットル、リミッター、留学、流産、～料、量、両替、料金、良好、領事、領事館、領収、緑地
【る】～類
【れ】例、霊、レクリエーション、列車、レベル、連続、レンタル、連盟
【ろ】老人、老齡、ローマ字、路線、路面
【わ】沸かす、若者、別れ、分かれる、分ける、和紙、～割、割合、割引、割る、割れる

【表1】からもわかるように、これらの語彙が調査資料中の75%以上を占めており、留学生（日本語非母語話者）が情報を取得する際の障害となっているとともに、FWの対象となるものである。以下、これらの語彙の中から例としていくつかを取り上げ、FWの必要性和可否について検討する。

3. FWの必要性和可否

この節では、【表3】で提示した調査資料中の級外、1級及び2級語彙の中からいくつかの語を取り上げ、FWの必要性和可否について検討する。

3. 1 情報としての必要性和低い語彙

情報としての必要性和はあくまでも相対的なものであるが、今西（2007）で述べたように、FWの必要性和が高い文書は「ある言語を母語としないものが、自らの行動を円滑に行うために必要となる情報を得ることを目的として読む文書」であり、具体的には、「各種制度に関する情報」「各種手続きに関する情報」「遵守すべき規則や社会通念として守るべき習慣等に関する情報」「各種行事の開催に関する情報」「緊急時の対応に関する情報」であると考えられる。この観点から見た場合、以下に挙げる種類の語彙はFWの対象とはならないと考えられる。⁽³⁾

- ・地域固有の地勢・風習・行事等に関わる語彙
例) いちょう、外輪山、カルデラ、植木（市）、シジュウカラ、勢子、動植物園
- ・風習・習慣・年中行事に関わるものうち、日常生活との結びつきが低いと考えられる語彙

例) 鬼、鏡開き、鏡もち、こいのぼり、七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）、精霊流し、除夜の鐘、先祖、祖霊、薪能、焚く、端午、短冊、月見だんご、灯笼、能、初午、雛、煩惱、武者、幽玄、霊

次に、他の語彙を使用することで、情報提供に関する最低限の目的を達成することができると思われる語彙がある。

例) 和紙、支店、本店、信用金庫、農協（JA）、

日常生活のレベルで考えた場合に、「和紙」であるか「洋紙」であるか、「支店」であるか「本店」であるかはそれほど重要な意味を持たない。従って、FWにおいては、その上位語であり4級語彙である「紙」「店」を使用することになる。また、「信用金庫」「農協（JA）」は、調査資料内では公共料金の支払場所として提示されており、それぞれが持つ他とは異なる固有の業務内容を情報として提供するために用いられているわけではない。これらの上位語は「金融機関」ということになるが、「金融」「機関」ともに2級語彙であるため、FWにおいては4級語彙である「銀行」を用い、「銀行など」を使用することになる。

3. 2 FWの必要性が低い語彙

次に、FW の必要性が低いと考えられる語彙について考える。

『日本語能力試験出題基準』では「ローマ字表記による略語等」は含まれておらず、従って、本稿での調査では級外語彙として扱い、【表2】の中に含めている。

例) ATM、EMS、web、AM、SOS、FM、SAL

FW においては、「ローマ字表記による略語等」は、それが日常生活において一般的に使用されているものがある場合には、積極的に使用することとなる。というのは、例えば、ATMは「現金自動預払機」（現金：2級、自動：2級、預払機：級外）であり、その難易度は高く、ローマ字表記以外のFWは不可能であると考えられるからである。この他、電力や長さ、周波数などの単位

(国際単位系等) も含まれているが、全世界で使用されているものであり、カタカナで表記することによって難易度が上がると考えられる。

例) A (アンペア)、KHz (キロヘルツ)、cm (センチメートル)、% (パーセント)、mm (ミリメートル)、MHz (メガヘルツ)

これらはカタカナで表記する必要はなく、FWにおいては、() で示した記号を使用することになる。

次に、外来語についてである。外来語によってのみその指示対象を表すことができるものや外来語の使用が一般的であるものについては、当然外来語をそのまま使用することとなる。

例) アナログ、アンテナ、インターネット、カード、クレジットカード、コレクトコール、トラベラーズチェック、ホームページ、パスポート

また、和語・漢語を使用するよりも外来語を使用した方が難易度が下がると考えられるものについても、積極的に外来語を使用する。

例) アクセス[交通の便] (交通：2級、便：2級)、スタッフ[係員] (係：2級、人：2級)

【表3】の中には多くの漢語が含まれており、これらの漢語をどのように扱うかがFWの大きな課題の一つである。しかしながら、この中には、語彙としては級外、1級及び2級語彙として取り扱われているが、語を構成する一字一字の漢字が比較的容易であり、日本語レベルが初級後半から中級前半の学生(日本語非母語話者)であっても、それぞれの漢字の意味から語の意味を類推することが容易であると考えられるものがある。

例) 入金、入国、出国、水洗、前年、年間、後日、日時

これらの語で使用されている漢字はすべて『日本語能力試験出題基準』の4級及び3級漢字表に載せられているものであり、それぞれの漢字の意味から

語の意味を類推することが可能であると考えられる。従って、FW の必要性は低いと判断できる。FW の目的は文字言語による円滑な情報伝達にあるので、その語の読み方がわからなくても意味さえ伝達できればその目的は達成されたことになる。FW においては、表意文字である漢字の利点を有効に活用することが望まれる。

3. 3 FWが難しい語彙

【表3】の中には、日常生活を円滑に行うために欠かせない語彙であると考えられる一方で、FW を行うことが難しいものが多数存在する。

例) 外国人登録証明書 (外国人+登録+証明+証)、回数券、救急車、口座、小切手、書留、(お)札、敷金、子宮、収入印紙、受話器、診察券 (診察+券)、税金、政府、専門学校、葬式、速達、体育館、大臣、宅急便、短大、中学、通帳、定期券、手数料、天気予報、電池、年金、年度、配偶者、不動産 (会社)、保育園、保険証 (保険+証)、役所、家賃、幼稚園、領事館

これらは主に漢語名詞であり、その指示対象の具体性が非常に高いため語彙のレベルでのFW は非常に難しい。今西 (2007) でも指摘したが、これらの語彙については、辞書等での意味記述や制度・習慣等の説明を付け加えるなどして、文脈から意味が推測できるように配慮した上でそのまま使用するのは難しいと思われる。また、可能な限り挿絵等の補助的な手段を使用せざるを得ないだろう。また日本語教育の現場で、特に日常生活での日本語使用及び理解を目標とする学習者に対しては、学習の早い段階で習得させるべき語彙であると考えられる。

3. 4 FW が可能な語彙・語彙

3.1 から 3.3 で検討した特徴を持つ語彙以外は、原則としてFW の対象となるものであると考えられる。今西 (2007) で指摘したように、語彙的な側面からみたFW の方法は、(1) 外来語の使用、(2) 語彙体系の中でその語彙的な意味を包摂している、あるいは文体的な特徴などの副次的な意味を持たないと考えられる上位語に変更する、(3) 語彙的な意味が表す事柄の代表例であると考えられる事柄を表す語彙を使用する、(4) 語彙的な意味が表す

事柄（事態）と時間的に前後する事柄（事態）に変更するといったことが考えられる。これらのうち、(1)(2)(3)は語彙レベルでのFWであり、(4)は伝達する情報内容の見直しをも含めた文レベルでのFWである。なお、個別の語彙のFWについては、今後の課題としたい。

4. まとめ

本稿では、FW 研究への取り組みの一つとして、留学生（日本語非母語話者）に配布される生活に関する情報冊子を資料とし、そこで使われている語彙を把握するとともに、『日本語能力試験出題基準』との比較を行い、いくつかの語について、FW の必要性や可否について論じた。本稿で調査資料とした冊子内で使用されている語彙の75%以上が『日本語能力試験出題基準』1 級、2 級及び級外語彙であった。それらの語彙の中には、情報としての必要性が低い語彙が含まれているほか、ローマ字表記による略語、国際単位系、外来語、漢字から意味の類推が比較的容易であるなどの理由でFW の必要性が低いと考えられるもの、逆に指示対象の具体性が非常に高いため語彙のレベルでのFW は非常に難しいものなど、さまざまな語彙が含まれていた。しかしながら、残りの語彙はFW の必要性が高く、またFW が可能な語彙であると考えられる。これらの語彙は、今西（2007）で指摘したような方法を用いてFW を行うこととなる。

今後は、(1)他地域で発行されているいわゆる「生活の手引き」を入手し、そこで使われている語彙を分析・把握する、(2)使用語彙の比較を通じて、地域を問わず留学生（日本語非母語話者）が必要とする語彙（情報）を特定する、(3)FW の必要性が高く、またFW が可能な語彙について実際にFW を行う、(4)FW 具体例を提示するという作業を行っていく予定である。

注

- (1) 『Living Information』（熊本市国際交流振興事業団発行）。この冊子は留学生のみを対象としたものではない。
- (2) 表記については、日本語能力試験出題基準に準じておらず、調査資料での表記をそのまま使っている。
- (3) ただし、個々の語彙の必要性についての判断は、他地域の資料との比較の結果を待たなければならない。

参考文献

- 今西利之（2006）「文書による留学生への情報伝達をめぐって－『フォリナー・ライティング』研究にむけた取り組み－」『熊本大学留学生センター紀要』第9号（熊本大学留学生センター）
- 今西利之（2007）「フォリナー・ライティングの具体例とその分析」『熊本大学留学生センター紀要』第10号（熊本大学留学生センター）
- 河原俊昭（2005）「外国人への言語サービスとは何か」『日本語学』11月号（24巻11号）（明治書院）
- 国際交流基金（2002）『日本語能力試験出題基準【改訂版】』（凡人社）